



Service News

Vol.27

～指定サービス工場様とPABCOを繋ぐ情報ツール～

2017/11/24

発行元 / 品質保証部 品質保証課

トピックス

2017年10月27日～11月5日に東京ビッグサイトにて開催されました、東京モーターショー2017に三菱ふそうのトラック3台とバス1台の計4台が出展されました。
PABCOは、その全ての出展車両のサポートをしました。
今回の記事では、車両のドレスアップと塗装を担当した部門のインタビューを掲載いたします。

2ページ

TOKYO MOTOR SHOW 2017
BEYOND THE MOTOR
T.M.S



エクシオウイングの修理ポイント



D介くん

皆様こんにちは！D介です。前号に引き続き今号でも、エクシオウイングの修理ポイントをお伝えしていきます。
本号では、ウイングのボトムレールとサイドフレーム、センターレールの交換方法をお伝えします。こんなところも交換できるんだ！と知っていただけたら幸いです。ぜひご覧ください。

- ・エクシオ羽根ボトムレール・サイドフレーム交換マニュアル...3,4ページ
- ・エクシオウイングセンターレール交換マニュアル...5,6ページ



年末年始のご案内

品質保証課の本年度の営業につきましては、12月27日(木)12時をもちまして業務を終了させていただき、来年度は1月5日(金)から営業の予定でございます。
誠に勝手ではございますが、何卒ご了承のほどお願い申し上げます。



品質保証課スタッフより

【リコール等に関する受付時間】 月～金(除く所定休日) 9:00～12:00 13:00～16:00

商品に関するご意見、ご要望などがございましたら、お気軽にご連絡ください。

お問い合わせ先

株式会社 パブコ 品質保証部 品質保証課 担当 / 小見川・松川

〒243-0402 神奈川県海老名市柏ヶ谷456番地

TEL 046-235-8525 FAX 046-235-7964 E-MAIL pabco_qm@daimler.com

その他のお問い合わせ先

リコール等に関する件.....【品質保証課 市場措置担当】 TEL 0120-825-977

修理方法等に関する件.....【サービスセンター】 TEL 046-235-8518

部品の注文・お見積り等に関する件.....【部品販売部】 TEL 046-235-8511

お客様からの製品等に関する件.....【各地域担当営業】



TOKYO MOTOR SHOW 2017 Interview

TOKYO MOTOR SHOW 2017
BEYOND THE MOTOR

TMS



2017年10月27日～11月5日に東京ビッグサイトにて開催された東京モーターショー2017に三菱ふそうのトラック3台とバス1台の計4台が出展されました。PABCOはその全ての出展車両のサポートをしました。今回の記事では、車両の塗装・ドレスアップと改造を担当した部門のインタビューを掲載いたします。

Q: 名前と所属部署を教えてください。

1

A: カスタムテラー道トラック部 改造プレス・塗装課で課長を仰せつかっております、神保 誠と申します。

Q: 東京モーターショー 出展車両を手掛けることになった 経緯を教えてください。

2

A: 2002年に東京モーターショー車両の塗装依頼が初めて三菱ふそうからありました。展示車両として、演出のための改造要望に応えることができ、以降毎回改造と塗装の依頼をいただいています。

Q: 普段はどのような仕事を担当しているのですか？

3

A: 主に三菱ふそうの車両改造工事、展示車両のドレスアップ、ユーザー指定色の塗装などを担当しています。

Q: 出展車両のどの部分を担当したのですか？

4

A: 4台すべての車両の塗装・ドレスアップと改造を担当しました。

Q: 一番力を入れたのは何ですか？

5

A: 三菱ふそうデザイン部の要望であるカラーを確実に出す事です。カラーにより今回のコンセプトが崩れてしまうため、本来3コートパール塗装の依頼でしたが、照明演出等を考慮し、塗装を4コートにすることを提案し、三菱ふそうデザイン部に採用をいただき成功しました。

Q: 難しかった部分や苦労した部分はありますか？

6

A: 改造工事の中で多種多様な要望に応えていくため、メンバーが一丸となり検討・連携を図っていたが、開催日直前ギリギリまで工事が終わらなかった事です。エアロクイーン（バス）の客室改造では、シートの入替え及び9つのモニターを設置する作業で純正部品が無い中、メンバーのアイデアにより要望通りに仕上がりました。また、一番難題だったのが客室の空調です。展示会場ではエンジンを始動できないため、空調をそのまま使用できません。メンバーでミーティングを繰り返し、トランクルームに外部エアコンを設置することにしました。外部エアコンの配管を改造してバス側の配管に直結することで冷風を客室に送ることができました。しかしながら、我々の作業は展示車両の製作で終わりではなく、展示終了後の復元作業もあります。お客様の要望に応えつつ復元も視野に入れ、様々な作業を行うので先読みの作業が非常に重要です。

Q: 神保さんのモットーは何ですか？

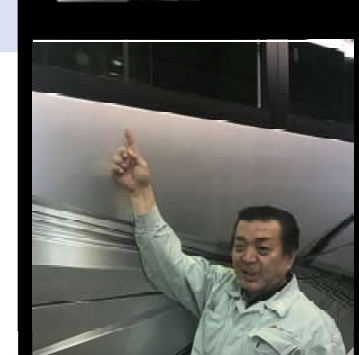
7

A: 「尽己」（じんこ） 己の限りを尽くすです。
部門でもある「カスタムテラー道」の名の通り、お客様の要望に応えた車両を製作し、お客様に喜んでいただく事です。

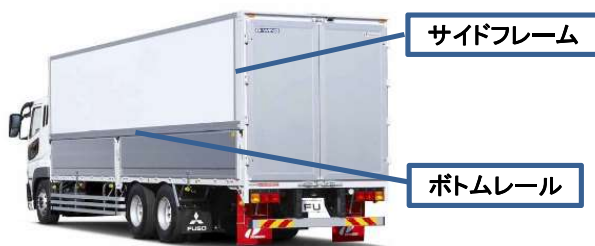
Q: 最後に東京モーターショーに携わった 感想を。

8

A: 毎回の事ですが、開催期間中は不測の事態に備え現地で待機し、時には塗装の説明を求められたりして、お客様と直接会話ができ、生の声が聞けたことが、今後の仕事の役に立ちます。展示車両として真っ先に目につくのが塗装ですので「綺麗♪ 良い色だ!」とお客様が口にした時は、鳥肌が立ちました。車両製作にあたり、メンバーが様々な難題を乗り越え、精一杯作業してくれたことに感謝しています。



【 エクシオ羽根ボトムレール・サイドフレーム交換要領 】 1/2



ボトムレール、サイドフレームとも、基本的にチェーンブロック等で引っ張って外していきます。その際、羽根が動いて変形や損傷をする恐れがあるため、ラッシングベルト等を使用して固定するようにして下さい。

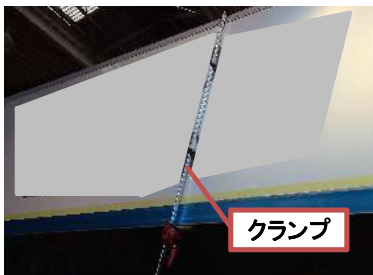
【ボトムレールの交換要領】



- 1) ボトムレールの固定リベットを全箇所外し、羽根との接合部のシールに切り込みを入れてください。ボトムレール前端または後端下部に穴をあけて下さい。その穴にボルト等を差し込み、チェーンブロックをセットします。ボトムレールを外す際は、羽根サイドパネルにかなりの力がかかるため、羽根を大きく開いた状態で外そうとすると破損する可能性がある為、開く角度は最小限にして下さい。



- 2) ゆっくりとチェーンブロックで引っ張り、ボトムレールを剥がしていく感覚で外していきます。一気に引っ張ると羽根サイドパネルが損傷する恐れがあるため、少しずつ力を加えます。
- 3) 同要領でチェーンブロックをかける位置を移動しながら、ボトムレールに荷重をかけていき全部外します。全部外した後は、ボトム部分の接着材のカスを取り除いてください。



- 4) 新しいボトムレールを取付けます。接着剤を塗布してボトムレールをセットし、パネルと型材を押さえるクランプ等で固定して、圧着した上で乾燥させます。弊社で使用している接着剤は、sikaflex (シーカーフレックス) -252Jです。ボトムレールをセットしたらリベットを打ち、ボトムレールを安定させた状態で乾燥させます。ウイングパネルとの接合部にシーリングを行い完了です。
※接着剤の塗布についての詳細は次ページ最下段を参照下さい。

【サイドフレームの交換要領】

ラッシングベルト



- 5) サイドフレームを外します。
サイドフレームの場合は、羽根が前後に動かない方向でラッシングベルト等を固定します。

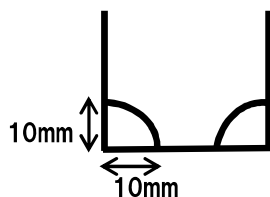


- 6) ボトムレールを外す時と同要領で、サイドフレーム上部に穴をあけてボルト等を差し込み、チェーンブロック引っ掛け引っ張っていくと外れます。引っ張る際は少しずつ力を強め、時間をかけて少しずつ接着剤が剥がれるのを待ちながら外して下さい。外れる際は急に外れますので注意して下さい。全部外した後は、サイド部分の接着剤のカス等を取り除いて下さい。

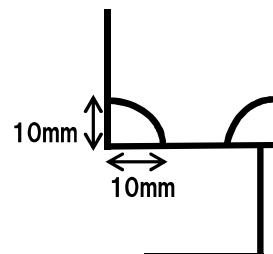


- 7) 新しいサイドフレームを取付けます。
馬の上にサイドフレームを置き、H型の型材に接着剤を塗布してはめ込み、クランプ等で固定して圧着したうえで乾燥させます。弊社で使用している接着剤は、sikaflex (シーカーフレックス) -252J です。接着が十分に完了したら、羽根の最前部（または最後部）に接着剤を塗布し、サイドフレームをセットして乾燥させます。接着が十分に完了したらリベットを打ち、羽根サイドパネルとの接合部にシーリングを行い完了です。
※接着剤の塗布についての詳細は最下段を参照下さい。

※ボトムレール接着時の接着剤塗布量



※サイドフレーム接着時の接着剤塗布量



【 エクシオウイングセンターレール交換マニュアル 】 1/2

※センターシートは剥がした状態からになります。センターシートの脱着詳細はセンターシート交換マニュアルを参照願います。



まず最初にウイングヒンジピンを取り外していきます。
全箇所ウイングヒンジピンのスプリングピンをポンチ等で叩いて抜きます。【2】、【3】



次にワッシャーを外し【4】、ピンを抜きます。【5】全箇所抜き終わったら、左右ウイングを少しずつ上げて、センターレールとウイングを離します。【6】



次にセンターレールを固定している前後のブラケットからセンターレールを外します。
前後それぞれのブラケットにつき側面のボルト左右計4ヶ所を17mmのスパナ及びラチェットで外します。



センターレールの内側の前後に取付している補強アングルは再利用しますので、この時に補強アングル取付ボルトも緩めておきます。【10】

※補強アングル取付ボルトの他の2ヶ所は3)で共締めされているものです。
ボルトを緩め終わったら、ハンマーの柄などをセンターレールに差し込んで、てこの原理でセンターレールを上へ引き出し【11】、クレーン等で降ろします。【12】

5) 【13】



【14】



【15】



降ろしたセンターレールの補強アングルをボルトを外して引き出し、新しく乗せるセンターレールに移設します。この時、4)で外したボルトだけ仮締めしておきます。【15】

6) 【16】



【17】



【18】



センターレールを前後のブラケットに取付けます。ボルトは本締めして下さい。(締付トルク 95 N・m)

7) 【19】



【20】



【21】



次にウイングヒンジピンをヒンジ全箇所に取り付けていきます。最初にフィメールヒンジとメールヒンジの穴位置を合わせるため、ウイングを上下させて調整します。それでも微調整が必要な場合は、バール等で羽根を痛めない程度に、ウイング本体を持ち上げながら調整します。【19】、【20】ピンを挿入するときは、十分な量のグリスをピンに塗ってから、ハンマー等で叩いて挿入します。

8) 【22】



【23】



センターレールの前後方向の中間部は、弓なりになっていますので、レールに乗るなどして抑えながら位置を調整してピンを挿入します。【22】

ピンを挿入後、ワッシャーをかぶせ、スプリングピンをハンマーで叩きこみ固定します。【23】

7)と8)の工程をウイングヒンジ全箇所に行い、完了です。